



TBSK Orchestra The 9th Concert *No.9*

Date: December 9, 2018 13:00 open / 13:30 start

Site: Muza Kawasaki Symphony Hall

Entrance Free

Program:

Symphony No. 9 — Shostakovich

Kammersymphonie Nr.1 Op.9b — Schönberg

Das Lied von der Erde — Mahler

Mezzo-soprano: Moriyama Kyoko

Tenor: Ide Tsukasa

Conductor: Kuse Takeshi



THE TBSK ORCH

TBSK管弦楽団 第9回定期演奏会「第9番」

日時：2018年12月9日(日) 13:00開場 / 13:30開演
会場：ミューザ川崎シンフォニーホール 音楽ホール
入場無料・全席自由

プログラム：
交響曲第9番 — ショスタコーヴィチ
室内交響曲第1番 Op.9b(管弦楽版) — シェーンベルク
交響曲「大地の歌」 — マーラー

メゾソプラノ：森山京子
テノール：井出 司
指揮：久世武志

※ 未就学児の入場はご遠慮いただいております。
※ ホールの定員を超えた場合、
入場を制限させていただく場合がございます。
※ 13:10頃よりプレコンサートを行います。

TBSK Orchestra The 9th Concert No.9

Date: December 9, 2018 13:00 open / 13:30 start

Site: Muza Kawasaki Symphony Hall

Entrance Free

Program:

Symphony No. 9 — Shostakovich

Kammersymphonie Nr.1 Op.9b — Schönberg

Das Lied von der Erde — Mahler

Mezzo-soprano: Moriyama Kyoko

Tenor: Ide Tsukasa

Conductor: Kuse Takeshi



TBSK管弦楽団は2011年8月に発足したオーケストラです。TBSKは、Technical and Broad Sound by Kinds of Peopleの略で、演奏技術と幅の広い人間関係を互いに高め合って音楽を作っていく、という思いからの命名です。団員などは「てばさき(手羽先)」という愛称で親しんでいます。(団の名称を決める際にちょうど食べていたものが手羽先だったことからとか…)。ぜひとも手羽先オケという呼び名で皆様に覚えていただければと思います。

現在登録されている団員数は140名あまりで、20代の現役大学(院)生と社会人で構成されています。団員の在籍・出身大学は青山学院大学・慶應義塾大学・埼玉大学・首都大学東京・東京大学・東京工業大学・東京農工大学・一橋大学・横浜市立大学・横浜国立大学・立教大学・早稲田大学などです。このような多様な大学からの出身者が集うことで、団員それぞれが持つ多様な観点をお互いにぶつけ、磨きあいながら日々音楽と向きあうことができています。

当団の活動の理念は、「既存楽団と一線を画した『新奇性』の追求」です。特に、当団の定期演奏会では、先に国(地域)・種類・時代などのテーマを設定してプログラムを決めることで、独創的な演奏会を作りだしてきました。このようなプログラム設定方法を取ることで、1つの演奏会が1つの文化的統一感をもたらし、曲に対する理解が深まり作曲家に対する敬愛がうまれると考えています。

この他にも、当団ではアマチュアオーケストラとして新奇性の高い公演を企画して参りました。これまでに行った企画演奏会は、オペラ「アンドレアシェニエ」、「こうもり」公演、オーストリアでのミサ・オペラ公演などです。2018年8月には夏のブラハ音楽祭(ブラハクラシックス)での公演を行いました。



メゾソプラノ | Mezzo-soprano
森山京子 | Moriyama Kyoko



指揮者 | Conductor
久世武志 | Kuse Takeshi

国立音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア・ミラノに留学。ドイツ・ライプティッヒ歌劇場と1994/95年、1995/96年のシーズン契約。イタリア・ベルガモドニゼッティ歌劇場、パルマ、レッジョエミーリア、ミラノ各市、ルーマニア国立歌劇場にてオラトリオ、オペラ出演。新国立劇場公演、藤原歌劇団公演、日本オペラ協会公演、びわ湖ホールプロデュースオペラ、東京室内歌劇場公演に多数出演。NHKニューイヤーパーラコンサート、NHKFM出演。藤原歌劇団団員。日本演奏家連盟会員。



テノール | Tenor
井出 司 | Ide Tsukasa

長野県佐久市出身。昭和音楽大学卒業。同大学院修了。高橋喜久子、的場辰朗、(Fernando Cordeiro Opa) フェルナンド・コルデイロ オーパ、(Eughenia Dundekova) エウジェニア・ドゥンデコヴァの各氏に師事。2012~13、2015~17年まで立石信雄奨学金、下八川圭祐基金を得てイタリアに留学し各地でコンサートに出演。日本クラシックコンクール最高位、イタリア声楽コンクール入選、イタリア・ペーザロ市国際音楽コンクール第三位など多数受賞。フェスタサマーマミュザ2011で東京交響楽団と共演。同協会発足40周年ガラ・コンサートではサントリーホールでオーケストラと共演し好評を得る。「ピア・デ・トロメイ」ギョー役でオペラデビュー。「ファルスタッフ」フェントン役「愛の妙薬」ネモリーノ役「カプレーテイ家とモンテッキ家」テバルド役「椿姫」アルフレード、ガストン役「リゴレット」ドゥーカ役「オベルト」リッカルド役「なりゆき泥棒」アルベルト伯爵役「夢遊病の娘」エルヴィーノ役「リタ」ベッペ役などに出演。藤原歌劇団では「ランメルモールのルチア」アルトゥーロ役、「椿姫」ガストン役、「ランスへの旅」ゼフィリーノ役で出演。オラトリオでは「第九」、「メサイア」にソリストとして出演。XFLAG PARK2017MONST OPERETTAに音楽監督、長老役で出演。佐久演奏家協会会員、フォルテサロンメンバー、藤原歌劇団団員。

洗足学園音楽大学指揮研究所にて指揮を秋山和慶、河地良智、川本統俯の各氏に師事した他、スコアリーディングを島田玲子、西川麻里子の各氏に師事。またオーボエを前川光世、リヴィウ・ヴァルコル(フランクフルト放送響首席)の各氏、室内楽及びオーケストラ・スタディを中川良平氏に師事する。これまでに数多くのオペラ・カンパニーで指揮し、音楽スタッフも務めている。

また2015年より洗足学園音楽大学声楽科において講師として後進の指導にも当たっている。

2011年フランス・アングレームで開催されたコミクストゥス音楽祭に招待され、音楽祭室内楽アンサンブルにおいてシェーンベルク、ミヨー、リヒャルト・シュトラウスなどの作品を指揮し、好評を博す。再び2012年にも招待され、フランス中部のトゥール歌劇場のコンサート・プログラムにおいてメゾ・ソプラノのニコル・ブージュ、俳優のマルク・ルグラと共演。さらにフォーレ音楽院の教授と学生からなるオーケストラ・エクトル・ベルリオーズの本公演とツアーにも客演し、すべての公演を成功に導き、新聞各紙で高い評価を得た。昨年10月にはオーストリアのアイゼンシュタット市にあるエステルバ宮殿内ハイドンザールにて、ハイドンのミサ曲とオペラ「月の世界」の公演行い絶賛を博す。2018年にはチェコ・プラハで行われる音楽祭ブラハクラシックスに出演した。

問い合わせ: TBSK管弦楽団 執行部(岸本)
mail: tbsk.orch@gmail.com
facebook: <https://www.facebook.com/Tbskorch>
twitter: @tbsk_orchestra
アクセス: JR川崎駅下車徒歩3分、京急川崎駅下車徒歩8分。

